

川の国埼玉 はつらつプロジェクト 提案書

～ 水と共に暮らす町を知る拠点づくり ～

農業用水路（文覚川）／吉見町 文覚川地区

吉見町

吉見町は埼玉県のほぼ中央に位置し、東に荒川、西南に市野川が流れ、西部は丘陵地、北部から東南部にかけては平坦で肥沃な水田地帯が広がっています。このような地形的な特色を活かし、農業が基幹産業となっており、用水として両河川から取水をしています。しかしながら、大雨の際には、この両河川の氾濫や増水による水害にも悩まされてきた歴史があり、排水対策についても重要課題として取り組んできました。

このように、吉見町は古くから水と深い関わりを持ち、水と共に暮らしてきました。町内には用水や治水などの水に関する施設が多数あり、これらの施設を巡り、役割を理解してもらうことで、農業農村の振興を図ることができます。本提案では、さくら堤公園に訪れる観光客やサイクリングロードを利用するサイクリストに対しても、農業農村が多面的機能を発揮していることを理解していただくため、情報発信拠点としての整備を目指すものです。

取組のイメージ図



水と共に暮らす町を知る拠点づくり

- ① 遊歩道の整備(環境整備)
- ・サイクリングロードとの分離
 - ・桜と共に水辺とさくら堤公園の花を楽しむ

- ③ 水と共に暮らす町を知るサイクリングルートの設定
- ・町内外から訪れるサイクリストをサイクリングルートに誘導

+

- ② 既存の駐車場を利用した農村・親水広場の整備
- ・農業農村の学習施設
 - ・サイクリスト休憩施設

↓ 拠点で水と共に暮らす町を知る

↓ 町内の施設から水と共に暮らす町を知る

農業農村が発揮する多面的機能の重要性を理解する
⇒ 農業農村の振興を図る

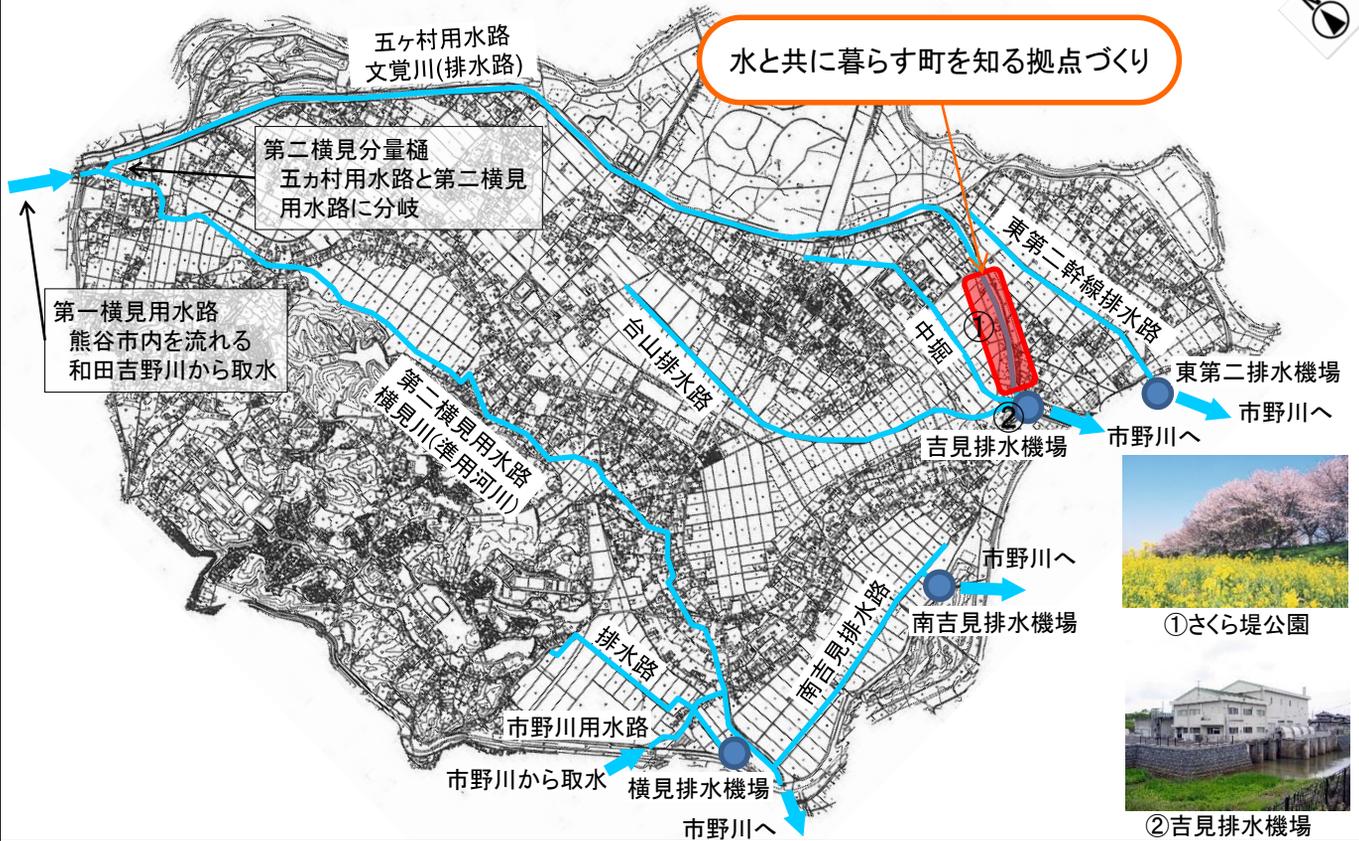
計画等の位置付け

- 吉見町まち・ひと・しごと創生総合戦略
まちへの来訪の促進の一つとして、自転車観光ルート開発事業を掲げ、町の観光スポットを周遊する事業が位置付けられています。
- 第五次吉見町総合振興計画
・ 緑と調和した生活空間
うるおいのある生活基盤として、緑と調和した生活空間を掲げており、文覚川沿いのさくら堤公園には、憩いと安らぎの場として町外からも多くの来園者があります。
- ・ 県営湛水防除事業の促進
農地の有効活用の主な取り組みとして、県営湛水防除事業の促進を掲げ、農業基盤の充実も図っており、特に湛水被害に対する取り組みには力を入れてきました。

目標・成果指標

- 緑と調和した生活空間を活かした農業農村に対する理解度の向上
 - ・ サイクリストによる農村・親水広場の来訪者数
整備前: 年度内に調査 整備後: 30人/日
 - ・ 桜まつり開催時の来訪者数
整備前: 次回の開催時に調査 整備後: 100人/日
 - ・ 理解度について事業前後でアンケート調査を実施
整備前: 工事着工前に調査 整備後: 50%以上
- 管理団体(多面的機能支援事業等)の設立
 - ・ 整備後に管理する団体の設立
整備前: 0 整備後: 1団体以上

位置図



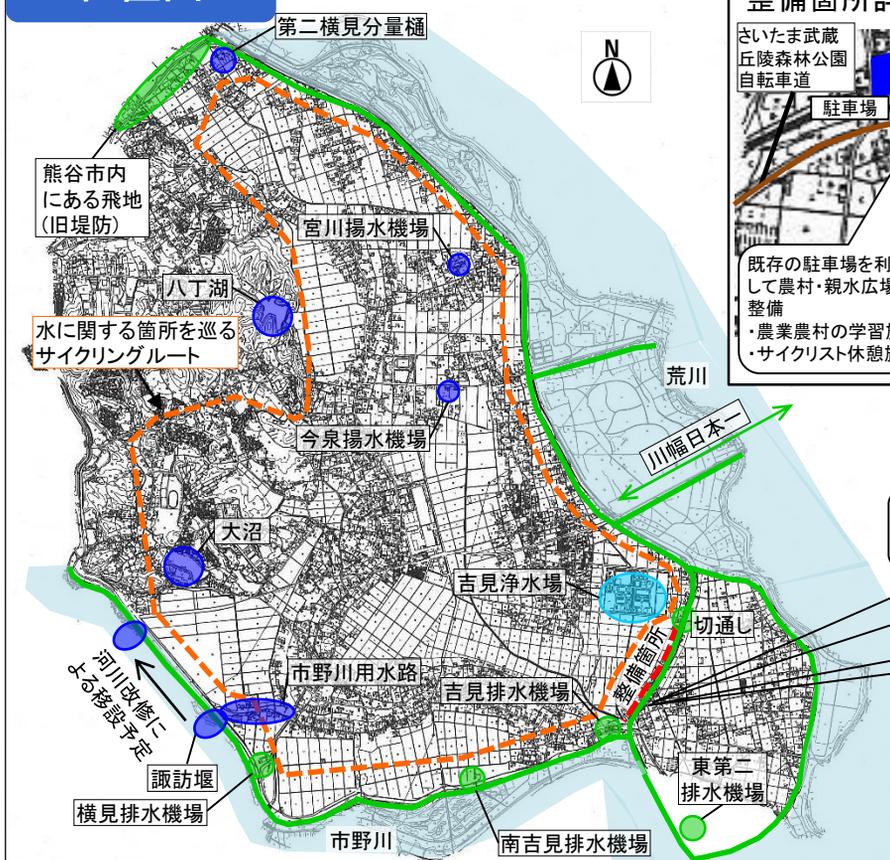
川の状況

- 町内の文覚川は延長5.4km
- 活動団体 3団体
(土地改良区、自治会、地域活動団体)
- 川の特徴
 - ・文覚川に隣接してさくら堤公園とサイクリングロードがある。
 - ・堤沿いにある桜並木は桜の名所として観光スポットとなっている。
 - ・近くに排水機場があり、排水施設としての重要な機能を有している。

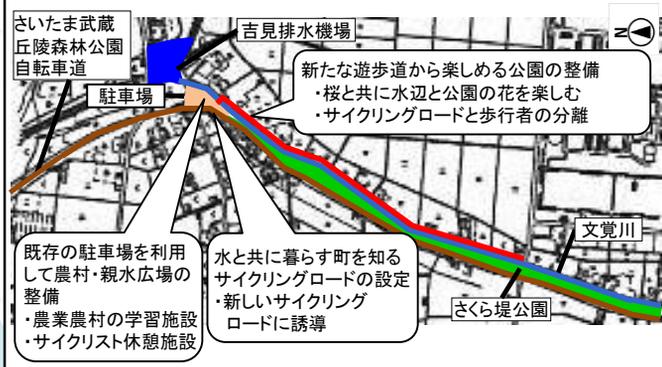
まちの状況

- 地域資源
 - ・農業は町の基幹産業で、特にいちごは遠方からも買いにきていただくほど、名産品として高い評価を受けている。
 - ・吉見町は埼玉県のほぼ中央に位置し、東に荒川、西南に市野川が流れ、古くから水との関わり合いが強い町である。
 - ・用水には、西部の丘陵地はため池、その他の平坦な地域は河川水や地下水が使われており、地域の特色を活かした水の利用がされている。
 - ・荒川と市野川の堤防に囲まれているため、古くから水害に悩まされてきた町でもあり、水害と闘ってきた歴史がある。
 - ・町では農業基盤づくりに力を入れ、排水施設の整備により湛水被害は激減している。
- 課題
 - ・農業基盤づくりで実施する排水施設の整備は、水辺と親しめることを意識した施設になっていない。
 - ・農業用水を取水する手段として築き上げてきた施設や、湛水被害から守るための排水施設があるが、農業農村のPRなどに活用できていない。

位置図



整備箇所詳細図



サイクリストは水と共に暮らす町を知るサイクリングルートへ

学習施設により農業農村の振興を図る

【凡例】

- : 用水施設
- : 排水(治水)施設
- : 堤防

事業等の概要

ハード

- サイクリングルートの整備
 - ・用水や治水など、水と共に暮らす町を知るサイクリングルートを案内し、施設を説明する機能も持たせた案内標識の整備
 - ・駐輪場の整備
- 農村・親水広場の整備
 - ・吉見排水機場が見える駐車場に農業農村の学習施設の整備(看板等)
 - ・サイクリストや観光客の休憩施設の整備(ベンチ、駐輪場等)
- さくら堤公園の整備
 - ・一年を通じて四季折々の花を楽しめる植栽
桜(春)、紫陽花(夏)、曼珠沙華(秋)、水仙(冬) など

ソフト

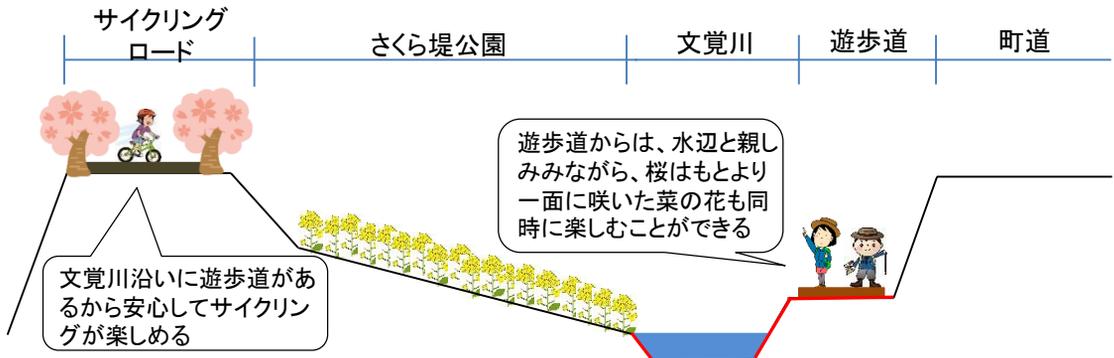
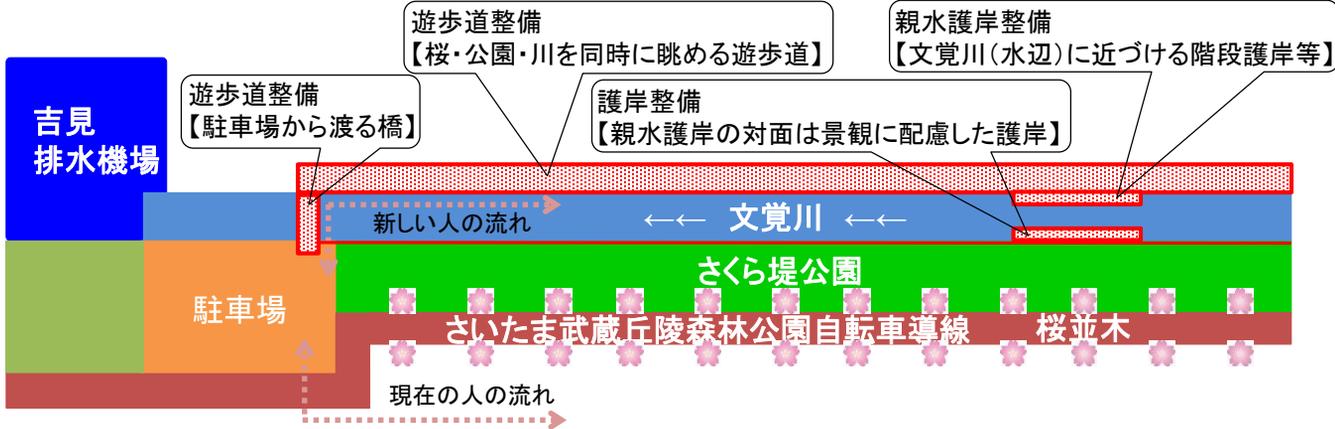
- 用水や治水など、水と共に暮らす町を知るサイクリングルートの案内
 - ・観光パンフレットへの掲載
- 農業農村の振興
 - ・農業農村の学習施設の利用
 - ・排水機場の視察等
- 情報発信
 - ・ホームページ、フェイスブック等の活用

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
サイクリングルートの整備				●————●		3百万円
学習施設の整備				●————●		3百万円
休憩施設の整備				●————●		3百万円
公園整備		●————●				2百万円

位置図

 : 県に実施してほしい整備



実施してほしい整備概要

■親水護岸及び遊歩道の整備（延長 約970m）

- ・文覚川右岸に水辺に近づける親水護岸
- ・文覚川右岸に親水遊歩道(左岸の駐車場から右岸に渡る橋等を含む)
- ・親水護岸に対面する左岸に景観を配慮した護岸
- ・左岸にある駐車場の整地及び遊歩道のアクセスするための階段

■農村・親水広場の整備

- ・整地

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
計画策定		●————●				20百万円
親水護岸整備			●————●	●————●	●————●	10百万円
親水遊歩道整備			●————●	●————●	●————●	250百万円
護岸整備			●————●	●————●	●————●	8百万円
農村親水広場整備				●————●	●————●	2百万円